

越前市議会だより

1月臨時会

議会三役

監査委員

副議長

議長

新たに決まる

監査委員
議会選出



いとう やすし 伊藤 康司 66歳

期数3期
教育厚生委員長、副議長などを歴任
(自由クラブ)

副議長



せき りえこ 関 利英子 61歳

期数3期
産業経済委員長などを歴任
(公明党議員団)

議長



ささき とみき 佐々木 富基 57歳

期数3期
総務委員長、副議長などを歴任
(市民ネットワーク)

議員政治倫理条例を改正

全会一致で可決

「市民との信頼構築など前文に明記」

現行の市議会議員政治倫理条例は、旧武生市議会が平成15年4月に制定して以来、10年が経過しています。昨年4月に現行条例を見直すかどうか検討する検討委員会が議会運営委員会から諮問を受ける形で設置され、構成された議員8人が計7回にわたり協議しました。

この検討委員会から25年10月、議会運営委員会にその答申がなされました。この答申を踏まえ、1月臨時会に議会運営委員会から全部改正案が提案され、全会一致で可決しました。この条例は、1月17日に公布され施行されています。

改正のポイント

- ① 「前文」は、この条例の持つ意味や議員が深い見識と倫理観の下に説明責任を果たすことで、市民との揺るぎない相互の信頼関係を築くことを、市民にわかりやすく示すため、新たに設けた。
- ② 「市民の責務」は、条例の適用対象があくまでも自己の政治倫理を確立すべき議員であることから、削除した。
- ③ 「記録文書の要求」は、条例をより有効に機能させるため、政治倫理基準に違反する要請を記録した文書を議長が要求できる規定を新たに設けた。
- ④ 「調査請求権」は、政治倫理基準に反する行為について、従来どおり市民が単独請求できることに加え、議員自身の自浄の点で、異なる党派等の議員複数による請求権を新たに設けた。
- ⑤ 現行の災害時の緊急対応の「特例」は、災害時の緊急対応であっても政治倫理基準に違反する議員の活動を認めることはできないことから、削除した。

本号の主な内容

- 2～3面 ◆代表質問など
- 4～5面 ◆議案審議、一般質問
- 6面 ◆議案等の表決一覧 ◆委員長報告

常任委員会が傍聴しやすくなりました

3月定例会から、常任委員会については、1日1常任委員会で開催します。3月定例会と常任委員会の日程は、次のとおりです。多くの市民の方が、傍聴しやすいよう座席を設けます。お気軽においでください。

3月定例会日程

- 会期 2月24日(月)～3月20日(木)
- ▼2月24日(月)
- 本会議(所信表明・提案理由説明)
- ▼2月27日(木)～28日(金)
- 3月3日(月)～5日(水)
- 本会議(質疑、一般質問)
- ▼3月7日(金)、10日(月)～14日(金)
- 各常任委員会
- ▼3月17日(月)
- 各特別委員会
- ▼3月20日(木)
- 本会議(委員長報告、採決)

※議事の都合により日程が変更になる場合があります。

12月定例会の概要

平成25年第5回越前市議会定例会は、11月29日から12月18日までの20日間にわたって開きました。

この定例会では、25年度一般会計補正予算案(3億8750万円) など8件、条例改正案2件、24年6月定例会から継続して審査していたふるさとの日条例制定案1件、指定管理者の指定に関する一般議案13件を可決。平成24年度決算案9件を認定。議員定数条例改正案1件を否決。人事案7件に同意。請願5件を不採択としました。このほか、選挙管理委員会委員4名及び同補充員4名の選挙を行いました。

1月臨時会の概要

平成26年第1回越前市議会臨時会を1月15日に開きました。この臨時会では、正副議長、各組合議会議員の選挙を行いました。このほか、議会運営委員・議会活性化特別委員の補欠選任案2件を決定、市議会議員政治倫理条例の改正案1件を可決、監査委員の選任案1件に同意しました。(6面に関連記事)

新しいメンバー構成になりました

議会運営委員会(1月15日現在)

円滑な議会運営を図るため、会派間の意見調整や議長の諮問事項を調査します。

- | | |
|------------|----------|
| 委員長 福田 修治 | 委員 吉田 慶一 |
| 副委員長 前田 一博 | 委員 川崎 悟司 |
| 委員 題佛 臣一 | 委員 中西 眞三 |
| 委員 川崎 悟司 | 委員 玉村 正夫 |

議会活性化特別委員会(2月3日現在)

越前市議会基本条例の趣旨に基づき、さらに議会改革について、継続的に調査研究を行います。

- | | |
|------------|----------|
| 委員長 川崎 俊之 | 委員 城戸 茂夫 |
| 副委員長 玉村 正夫 | 委員 玉川喜一郎 |
| 委員 関 利英子 | |
| 委員 福田 往世 | |



駅舎が改築された北府駅



野球教室の風景 (丹南総合公園内、H 25.9.23)

12月定例会

代表質問

代表質問は、当初予算の編成を前に、各会派の政策提言・意見が反映できるよう12月定例会に実施しています。今回は7つの会派を代表して7人の議員が質問を行いました。その主な内容は次のとおりです。なお、詳しくは市議会ホームページの「会議録検索システム」「インターネット録画配信」をご覧ください。

◎は会派を代表して質問した議員です。

市民ネットワーク

- ◎ 福田 修治
- 玉川喜一郎
- 佐々木富基
- ◎ 三田村輝士

●原子力災害発生時の住民避難計画を示せ

問 原発事故が発生した場合を想定した住民避難計画の策定のめどと、計画に基づく避難訓練の実施時期はいつか。

答 住民避難計画と原子力災害対策編は、平成25年中の策定を目標としつつ、県の広域避難先施設の調整作業を見定め、県の調整後に速やかに策定したい。また、避難経路や安定ヨウ素剤の配布場所などは、県と調整している。具体的対応が明らかになり次第、順次、計画に追加したい。原子力防災訓練は、平成26年度の早い時期での訓練の実施を県に強く要請する。

●市の臨時・嘱託職員の処遇を改善せよ

問 今や嘱託職員は公共サービスを提供する担い手として欠かせない存在である。継続的、恒常的、基幹的な職責を担いながら不安定な雇用を強いられていることは大きな問題である。法的整備を国に求めるとともに、賃金や働く環境等の処遇を改善すべきではないか。

答 来年度、臨時職員の時間単価の改定を検討する。嘱託職員は専門性を十分に発揮しているため、賃金体系や福利厚生制度の見直し等を図っている。今後とも処遇改善に努める。

その他の質問項目

市長選挙の総括と今後の市政運営、新庁舎建設と新幹線南越駅(仮称)周辺整備、福祉社会、教育環境、農業政策、道路無雪化の推進、公共施設の長寿命化、新年度当初予算編成

自由クラブ

- ◎ 題佛 臣一
- 伊藤 康司
- 嵐 等
- ◎ 福田 往世

●若者の正規雇用や離職者の再雇用を推進せよ

問 非正規雇用で働く若者が増加している中、経済的に不安定なことから、若者の結婚率も毎年減ってきている現状がある。市は、正規雇用に向けた対策や若者離職者の再雇用問題をどう考えるのか。

答 雇用対策は、国が一元的に行うものと考えている。市では、雇用機会の拡大を目的とした企業立地促進のための支援、若者に対して企業での就労体験の場を提供するインターンシップ事業に取り組むほか、勤労青少年ホームでの若者向けの就労支援講座の実施や、地域若者サポートステーション福井と連携した就労支援の充実に努める。今後、ハローワーク武生を中心に関係機関と連携して雇用対策の推進に努める。

●丹南総合公園の管理運営方法を示せ

問 丹南総合公園の管理運営方法と、供用開始後の設備等に対する課題はどのようなか。

答 管理運営は、他の都市公園と同様の体制で行う予定である。施設や設備機器の保守点検等は専門の民間業者に委託し、公園内の清掃や除草等の日常的管理は地元の人を考えている。9月の供用開始以降の設備等の課題は、各競技団体からの意見を踏まえ設置者の県に対し改善要望を行っている。

その他の質問項目

今後の市政運営、労働行政、農業政策、新庁舎建設

政新会

- ◎ 川崎 悟司
- 安立 里美
- ◎ 城戸 茂夫

●新庁舎建設着工までのスケジュールを示せ

問 現庁舎位置での新庁舎建設に関し、具体的な建設着工までのスケジュールはどうか。

答 新庁舎建設の関連予算は、新年度予算案に基本構想、基本計画の策定に要する所要額を計上し、新市建設計画の変更議案とともに3月議会に提案する。庁舎の配置や庁舎機能等については、基本計画の中で十分検討していく。平成29年の秋までには、本庁舎と今立総合支所を共に着工したいと考えている。また、計画策定に際し市民の声が十分反映できるような体制を検討している。

●北府駅ミュージアム構想の考え方を示せ

問 北府駅ミュージアム構想は、まちなか観光の北の拠点と聞くが、この構想の基本的考え方はどうか。

答 福武線北府駅の駅舎は、携帯電話会社のCMをきっかけに、市民から保存を望む声がたくさんあったので、大正13年建設当時のイメージを残し、駅舎整備を行った。市では線路と枕木を利用した総合案内板の整備、駅舎・電車のライトアップを実施した。今年度は、古い車両工場の改築・保存にも補助を行い、鉄道に関するミュージアム的な場所となるよう整備を進めている。

その他の質問項目

新庁舎、市長マニフェストの重要課題、元気な人づくり、快適で住みよいまちづくり

誠和会(12月議会時点)

- ◎ 前田 一博
- 西野与五郎
- 川崎 俊之

●自然災害から市民を守れ

問 福井豪雨で氾濫・決壊した服部川や水間川上流部の危険箇所や、市内中心部を流れる吉野瀬川の洪水対策について、今後の計画はどうか。

答 市が管理する服部川や水間川の上流部は、現河川の流下能力の確保と洪水防止を図るため、河川の堆積土砂の撤去等を行い、安全対策の強化を図っている。吉野瀬川の日野川への放水路工事の進捗状況は、県によると、28年度に通水することができ、増水時にも河川の流下能力を確保できると聞いている。

●有害鳥獣対策を推進せよ

問 イノシシ捕獲数の現在の状況と、おりに設置を今後増やしていく予定はあるのか。また、防護柵の整備状況と未整備区域への対応はどうか。

答 25年度の捕獲数は、11月末で24年と比較して149頭増の237頭であり、おりの増設は捕獲を強化するため計画的に進める。防護柵の整備は、集落の要望に応じて進めており、25年度は新たに4kmを設置し市全体で306km整備されている。未整備区域の関係集落に対しては、防護柵の整備について理解を求めていく。

その他の質問項目

巨大化する自然災害から市民を守る対策、三里山トンネル道路・国道417号線について、有害鳥獣対策

公明党議員団

◎ 関 利英子
吉田 慶一

●新庁舎の現在地建設について理解を深めよ

問 11月に開催した市民と議会との語る会では、市民の方から、現在地での新庁舎建設について大変厳しい意見が多くあった。特に、川東地域の市民に対して今後どのように説明して理解を得るのか。

答 市長選後、自治連合会理事会对する説明会を開くとともに、住民説明会を4回開催し、新庁舎建設に関する方針と背景について説明した。今後も市広報紙やホームページ、市政出前講座などを活用し、引き続き説明を行っていく。

●「被災者支援システム」を導入せよ

問 被災者支援システムは、罹災証明書の発行、義援金の交付、仮設住宅の入退去避難所・緊急物資の管理、倒壊家屋の管理など災害直後の被災自治体が必要とする機能を多く含んでいる。被災時には、自治体の業務量が拡大する。市民のためにも事務を迅速かつ円滑に行うことができる有効なシステムの整備と管理が重要と考えるが、このシステムの導入が図れないか。

答 西宮市が開発した被災者支援システムを中心に、丹南広域組合の構成市町に働きかけ、広域電算化推進委員会において、導入に向けた協議を行っている。

その他の質問項目

防災拠点としての庁舎機能、水道施設の耐震化、若年雇用対策と相談体制の充実、認知症高齢者を地域で守る、高齢者の肺炎球菌ワクチンに助成

日本共産党議員団

◎ 玉村 正夫
前田 修治

●消費税増税の影響と市民負担を考慮せよ

問 消費税増税が市の行財政に与える影響はあるのか。市が消費税増税と連動して市民負担を重くすることのないよう、上下水道などの使用料や、各種証明書発行などの窓口手数料、各種施設使用料・保育料などの値上げをしないよう求めるが、市の考えはどうか。

答 消費税率8%で2億円余り、消費税率10%では4億円近くの支出増となる。下水道使用料、水道料金などは消費税を転嫁することになるが、それ以外の使用料等については、来年4月からの消費税率8%時に、条例改正による見直しは考えていない。

●中学校卒業までの医療費無料化はいつから実施するのか

問 市長の選挙公約である中学校3年生までの、所得制限なしの医療費無料化はいつから実施するのか。また、一部負担金の撤廃や軽減と、窓口での一時立て替え払いをしながら済む窓口無料化の実施を求めるが、市の考えはどうか。

答 子どもの健やかな成長を目的として医療費助成をしており、中学校卒業までを対象にした所得制限撤廃は消費税10%への引き上げ時期までには必ず実施したいと考えている。一部負担金撤廃や窓口無料化については、引き続き県と協議していく。

その他の質問項目

生活保護基準額引き下げの影響と対応、水道料金の引き下げ、商店街や個人商店の存続支援、学校給食の無償化、「いじめ」問題の克服

越前創政会

◎ 中西 眞三
小形 善信

●3期目の政治姿勢と決意を示せ

問 1期・2期目を踏まえ3期目の抱負は何か。また、住民と行政と市議会の協働・連携をどう図るか。

答 3期目は、地域特性や地域バランスを考慮しながら、半世紀に一度のまちづくり基盤整備として、新庁舎建設、武生中央公園の再整備、新幹線「南越駅」(仮称)周辺整備、豪雨災害を踏まえた治水対策、原子力防災体制整備等に力を注ぎたい。また、複雑多様化していく市民ニーズにこたえるため、市民と議会と行政が相互の信頼関係のもと、特性を尊重し、適切に役割を分担し協力していく。

●新庁舎説明会での市民の感想は

問 庁舎建設の方針見直しによる効果はどうか。また、新庁舎建設説明会で市民の気持ちを感じたか。

答 人口減少社会において、まちを郊外へ拡大させるのではなく、先人たちがつくり上げた社会資本を活用し、コンパクトなまちづくりを進め、将来世代への負担を軽減することが必要と考える。市民からは、市長方針に賛同する意見も、日野川東部へ移転すべきとの意見もあったが、選挙結果を踏まえれば、市長の方針に関して、市民の合意は得られたものと考えている。

その他の質問項目

中央公園再整備、南越駅(仮称)と周辺整備、吉野瀬川ダム建設、原子力防災計画と避難計画、工芸の里構想、平成24年度決算特別委員会審査報告を受けて、学校ICTの取り組み、市内高校への支援と一貫教育導入

議会の様子をインターネットで配信中!

平成24年12月議会～平成26年1月議会の各本会議の録画中継を見ることができます。本会議の開催中は、生中継を配信しています。市のホームページから入って、次の手順でお気軽にアクセスしてください。

① 越前市議会 をクリック



② インターネット議会中継 をクリック



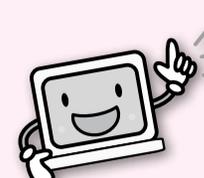
人事

- ・教育委員会委員の任命に同意
 - 委員 藤原 邦有氏(中津山町)
 - 委員 中島 和則氏(家久町)
- ・公平委員会委員の選任に同意
 - 委員 廣瀬 勉氏(粟田部町)
- ・監査委員の選任に同意
 - 委員 増田 仁視氏(福井市)
- ・選挙管理委員会 当選
 - 委員 町村 正則氏(五分市町)
 - 委員 水野 浄子氏(武生柳町)
 - 委員 野村 諭氏(下太田町)
 - 委員 長谷川さかえ氏(野岡町)
 - 委員 宮田 和夫氏(広瀬町)
 - 委員 田中三紀子氏(庄田町)
 - 委員 古市ミキ子氏(西庄境町)
 - 補充員 泰園澄 法嗣氏(国高三丁目)
 - 補充員 田中三紀子氏(庄田町)
 - 補充員 宮田 和夫氏(広瀬町)
 - 補充員 古市ミキ子氏(西庄境町)
 - 補充員 泰園澄 法嗣氏(国高三丁目)
- ・人権擁護委員の候補者の推薦に同意
 - 委員 川崎 則子氏(大滝町)
 - 委員 伊藤 達道氏(松森町)
 - 委員 藤井 敦子氏(東千福町)

議員研修会を開催



市議会は平成26年1月23日、原子力防災等に関する知識を深めるため、福井工業大学原子力技術応用工学科教授の吉岡満夫氏を招いて、「放射能・放射線と人への影響」という演題で、議員研修会を開催しました。



12月定例会 本会議の審議

総額5億5,087万円の追加補正
(予算総額 561億2,952万円)

一般会計 3億8,750万円(予算総額 341億5,955万円)
特別会計 1億6,440万円(予算総額 195億6,849万円)
企業会計 ▲102万円(予算総額 24億148万円)

予算審議

中学校運動部への備品購入費 800万円

問 中学校の運動部備品入れ替え選定や予算配分はどうか。

答 各中学校の校長等と相談する中で、運動部で長年使用して老朽化しているサッカーゴールを初め大型備品を整備する計画である。予算配分については、学校の規模によっても異なるが、1校当たり約150万円程度を考えている。



老朽化しているサッカーゴール(6中)

中学校3年教室エアコン設置工事費 1億2700万円

問 エアコン設置工事は、中学校3年生を対象としていると聞いている。その理由と、設置後の電気代はどれくらい必要になるか。また、今後中学校1、2年生や小学校へ設置していく計画はあるのか。

答 中学校3年生の教室は、ほとんど最上階の3・4階にあり、1、2階よりも室内温度が高い。さらに3年生は夏休みでも、補習授業を行っているからである。中学校全体の電気代は、3年間で460万円程度増額になる見込みである。中学校1、2年生教室は計画的に整備する予定だが、小学校への設置については、今後の検討課題である。

広域避難場所に必要な物資購入 800万円

問 広域避難場所として活用する物資を、26年度予算を前倒しで購入するとのこと聞いている。具体的にどのようなものを考えているか。

答 消耗品として折り畳み式マット、パーテーション、アルファ米、ミルク、生理用品、紙おむつ等で300万円、資機材として発電機、投光器、電機ドラム、情報収集用のテレビ、収納用ロッカー等で500万円を予定している。



発電機、投光器、電機ドラム等

武生中央公園再整備基本設計業務委託 1500万円

問 市民にも親しまれている武生中央公園のゾーニング(用途別区分け)について、具体的にどのような計画を考えているか。

答 ①市のセントラルパークとして幅広い年代の方が憩う、遊ぶ、見る、学ぶ、楽しむことができる空間の形成、②市の運動公園として市民のスポーツライフを創造できる空間の形成、③主要な文化施設等と共存できる空間の形成、④菊人形会場と連携し、にぎわいづくりのできる空間の形成、⑤災害発生の際、緊急に利用できる空間の形成などを念頭に置いて、ゾーニングや施設配置を考えていきたい。

工芸の里構想の策定委員会準備業務 500万円

問 この構想策定の主たる目的や、対象となる産業をどのように考えているか。

答 現在、①越前和紙は、重要文化財の指定に向けて作業が進められている。②越前打刃物は海外への販路拡大が進み、家族以外の後継者も生まれている状況にある。③指物は越前たんすが26年1月に国の伝統的工芸品の指定を受けることになる。このように、伝統産業を取り巻く状況が、これまでと違ってプラスのイメージに転換できる機会が訪れつつある。また、物づくりについても、継体大王の伝承を絡めて、ストーリー性を持って地域の活性化を図っていく。今後、福井国体、東京オリンピックの開催、北陸新幹線金沢駅までの開業、南越駅の開業など、人の交流がこれまで以上に多くなる。これらを好機と捉え伝統産業の振興を通じて市の発展につなげていきたい。

龍ヶ淵土地改良区補助金 1200万円

問 この土地改良区へ補助する経緯と、今後の計画の方向性はどうか。

答 村国を流れている龍ヶ淵用水は、帆船橋上流の日野川から取水している幹線水路である。9月の台風18号により取水口の導水路が崩壊したため、取水ができない状況で、現在、県の事業により工事を行っている。今後とも、国や県、関係団体とも相談しながら進めていく。



龍ヶ淵用水の導水路改修工事の風景

企業立地促進補助金 3000万円

問 この補助事業の交付要件と、交付に基づく地元雇用状況はどうか。

答 交付要件は、設備投資額が1億円以上で、新規雇用者が10人以上となっている。今回、今立工業団地に1社進出し、新規雇用は23人である。そのすべてが市内在住である。

額は幾らか。また、地元雇用に結びついていないのか。

答 これまでに、企業立地助成金を交付したのは20件で、約14億400万円余りとなっている。新規雇用者は、全体で1181名で、うち地元雇用は660名である。地元雇用について考えていると思う。



今立工業団地に進出した企業の活動風景

一般議案審議

越前市文化センターの指定管理者の指定について

問 このセンターを運営する文化施設管理事業団は、自治体が100%出資してできた組織である。その設立経緯を考えると、市は存続していく責任がある。事業団は設立以来、越前市における芸術文化の振興及び市民の多様な文化創造活動を支援する事業を行って、施設利用者のサービス向上に努めてきている。今回、公募とした理由について、市はどのように考えているか。

答 公募に当たっては、管理費の適正化、市民サービスの向上などのさまざまな視点で適正な評価を行っている。非公募にする場合は、地域等の活力を積極的に活用した管理を行うことにより事業効果が期待できるときである。また、地域住民の融和を図るために設置した施設の性格上、その施設の使用料を減額または免除している。しかし、この施設の大ホールは減免規定がなく、約1400万円の使用料収入があることから、公募している。



越前市文化センター

議員定数条例改正案は、賛成少数で否決

川崎悟司議員ほか5名から11月29日に、議員定数を22人から18人に改める越前市議会議員定数条例の改正案が提出されました。改正案については、本会議での質疑の後、議会運営委員会に付託し、審査が行われました。審査の結果、賛成少数をもって否決とし、最終日(12月18日)の本会議で委員長報告がなされました。本会議では、反対討論・賛成討論が次の2名で行われ、採決の結果、賛成少数で否決しました。

※主な討論内容は次のとおりです。

反対討論(要旨)

前田修治議員

本条例案に反対する理由は、①地方自治法に定める上限定数30名から8名も少ないのに、これ以上減らさないといけない客観的状況にないこと。②二元代表制のもと、議員は市政と市民をつなぐパイプ役・市政をチェックする監視役など、その機能を向上させ、より一層強化する必要があるのに定数削減では理解できない。③経費節減を考へるなら、報酬や公務活動費のあり方、海外視察の中止などを先に検討すべきである。④定数削減は、議員になる条件・門戸を狭めることにつながり民意を削ることになる。以上のことから、この改正案に反対する。

賛成討論(要旨)

安立里美議員

本条例案に賛成する理由は、①26年度から、市は半世紀に一度の大きな都市基盤整備がスタートするので、次世代に負担を残さない安全安心な暮らしの実現を目指して改革を進めるべきである。②情報化社会の進展により、市民への情報発信は、以前よりも確実に増大している。市民の多様な意見も、今や住民参加で可能な時代になりつつある。③地区の課題や要望等については、各地区自治振興会や町内会等で集約化が進んでいる。④議会改革の歩みをさらに加速させ、より一層市民に信頼される議会を目指すべきである。以上のことから、この改正案に賛成する。



地元関係者によるイノシシ埋設処理



新庁舎建設に関する市主催の住民説明会
(アルプラザ4階多目的ホール、H25.11.25)

12月定例会

一般質問

9人の議員が12月9日・10日の2日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から、特に1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。
なお、詳しくは市議会ホームページの「会議録検索システム」[インターネット議会中継]をご覧ください。

自治振興

庁舎・まちづくり・防災機能

現在地での新庁舎建設について住民合意を深めよ 自由クラブ 題佛 臣一

問 4回の説明会で住民合意は得られたのか

答 選挙戦の結果、十分同意は得られたと考える

問 現在地での新庁舎建設方針に関して、元合併協議会委員に経緯を説明し、その後市内4地区で住民説明会をしたが、市民に対する合意形成は得られたと認識しているのか。

答 A 合併協定委員には、合併協定に反する方針となった理由について十分経緯を説明した。市民に対しては、新庁舎の位置を争点に市長選挙を行った結果、市民の絶大な支持をいただいた。十分に同意は得られたものと考えている。

問 越前市民の「宝」である史跡地を有効活用せよ 越前創政会 小形 善信

問 現在地は、庁舎立地よりまちづくりを生かすべき

答 歴史認識を生かしたまちづくりを進める

問 現庁舎は越前府中城跡に建っている。市役所周辺一帯が国府の跡地と言われている中、この地は、北陸一円にもない恒久不滅の越前市民の「宝」である。歴史文化を検証し、まちづくりに生かすほうが庁舎を立地するより重要ではないか。

答 A まちづくりセミナーの講師から、これからのまちづくりを考えるとき、都市構造を変えず、歴史認識を生かし、上手に「プロモーション」すべきとの提言を受けている。このような観点を踏まえ、現在地が適地と考える。

問 災害発生時には現地対応に努めよ 諸 派 片粕正二郎

問 災害時における現地対応は重要ではないか

答 豪雨災害を考慮し、防災拠点複数化する

問 敦賀原子力発電所等から最も至近距離にある坂口・白山地区の防災対応に関する庁舎機能をどう考えているか。また、25年の伊豆大島の大震災を踏まえると、現地での対応が重要になるのではないか。

答 A 近年頻発する豪雨災害などを考慮した場合、市域が東西に長いという地勢的な特徴を踏まえ、防災拠点の複数化が望ましいと考えている。伊豆大島の例を見ても災害時における現地対応は重要である。

問 自治振興事業のさらなる発展を 市民ネットワーク 福田 修治

問 自治振興事業の今後のあり方は

答 若者や女性も参画できる事業に支援する

問 自治振興事業が10年を経過し、今後のあり方についてどう考えるか。

答 A 後継者問題や人づくりなどの課題については、自治連合会や各地区振興会と連携して取り組んでいく。今後のあり方は、若者や女性も参画できる環境づくりや、より多くの地域住民の意見を反映した事業となるよう支援していく。地域支援員は、地区と行政の調整役として、さらなる地域自治の推進に努める。

問 自治振興事業における社会教育団体を育成せよ 政新会 川崎 悟司

問 壮年会等の団体育成をどう考えるか

答 若者や女性の参画による組織強化を目指す

問 社会教育の人材供給源であった壮年会、女性会、青年団などの衰退が後継者不足の一因だと思う。これからの団体育成について市はどう考えるか。

答 A 自治振興の運営には壮年会や女性会などの地域団体との協働が重要である。後継者の育成についても、地区振興会に協議・検討する会議を設置し、自治連合会との連携を強化する中で若者や女性の参画による組織強化を目指す。

男女共同

市役所で女性が安心して働ける環境づくりを 政新会 安立 里美

問 懲罰審査委員会に女性の登用を

答 女性委員の参画を得るよう規定の改正を行う

問 市役所でセクハラによる懲罰審査が開かれた。懲罰審査委員会に女性の登用が必要ではないか。また、セクハラはパワハラにも関連するので、今後職員への教育のあり方についてどう考えるか。

答 A 女性委員の参画を得るよう市職員分限懲戒審査会規程の改正を行う。セクハラ研修のあり方を見直し、パワハラ防止に関する規定等を本年度中に策定したい。また、全職員を対象に研修会を開催する。

問 引きこもり等について積極的な対策が急務 誠和会 川崎 俊之

問 就労支援などの社会参加をどう考えるか

答 総合的な窓口を早期に設置したい

問 20・59歳の引きこもり(孤立無業者)等に対する就労支援などの社会参加について対策をどう考えているか。

答 A 市では、現在策定中の地域福祉計画の中で、引きこもり等社会的に孤立した生活困窮者の総合的な窓口を早期に設置したいと考えている。また、26年度には市社会福祉協議会が地域福祉の行動計画として「地域福祉活動計画」を策定し、市も積極的に参画し協議していく。

問 国保加入者の生活実態等の把握に努めよ 日本共産党議員団 玉村 正夫

問 国保税を払えない貧困世帯にどう対応するのか

答 制度に基づいて減免措置を講じている

問 国保行政で自治体の対策として必要なのは、国保加入者の生活実態、労働実態、健康状態の把握に努めることである。保険税を払えない貧困世帯に対して社会全体が生活を保障するという原点上に立った運営が必要ではないか。

答 A 災害や入院等により生活困窮状態に陥った場合には、国保税や病院窓口の一部負担金の減免もしており、必要な措置は講じている。

問 イノシシの埋設負担補助を拡充せよ 公明党議員団 吉田 慶一

問 イノシシの埋設負担について補助の見直しを

答 26年度当初予算編成で十分検討する

問 イノシシの埋設による捕獲が増加すること、地元の埋設負担も増加している。1回の捕獲につき親子で数頭捕獲される場合もあり、処分費用が増大していることから、補助の見直しができないか。

答 A 埋設処分には多くの集落で苦勞されていると承知している。26年度からの埋設処分の支援については、要望を踏まえ、平成26年度当初予算編成の中で十分検討していく。

農業

国保

福祉

**丹南ケーブルテレビで
議会放送を見るときは
092チャンネルです**

●議会放送中、091チャンネルは図のようになります

通常放送時	地域ふれあいチャンネル 091ch			
議会放送時	<table border="1"> <tr> <td>地域ふれあいチャンネル 091ch</td> <td>議会放送 092ch</td> <td>議会放送 (重なった場合) 093ch</td> </tr> </table>	地域ふれあいチャンネル 091ch	議会放送 092ch	議会放送 (重なった場合) 093ch
地域ふれあいチャンネル 091ch	議会放送 092ch	議会放送 (重なった場合) 093ch		

(各チャンネル標準画質)

議会放送を見るためには、リモコンのこのボタンで**092チャンネル**に合わせてください。

Table with columns for '議員名' (Councilor Name) and '議案等の名称' (Name of the Proposal). Rows include '予算' (Budget), '条例' (Ordinances), '一般' (General), '人事' (Personnel), and '請願' (Petitions). Columns list councilors like 市民ネ, 自由ク, 政新会, 誠和会, 公明, 共産, 創政会, 諸派.

Table with columns for '議員名' (Councilor Name) and '議案等の名称' (Name of the Proposal). Rows include '1月臨時会' (Special Session in January). Columns list councilors like 市民ネ, 自由ク, 政新会, 誠和会, 公明, 共産, 創政会, 諸派.

○:賛成 ×:反対 除:除斥 (この議案と直接利害関係のある議員はその審議に参加できません) 市民ネ:市民ネットワーク 自由ク:自由クラブ 公明:公明党議員団 共産:日本共産党議員団 創政会:越前創政会 諸:諸派 (注)議長は過半数議決の表決権はありません。なお、12月定例会に出された「特定秘密保護法制定に反対する請願」は、請願者から取下げ申請があり議会承認しました。

12月委員会報告 本会議で付託された議案を審査するため、常任委員会を開催しました。掲載記事は審査の主な内容です。

民間保育園運営委託事業について、委員からは、保育士の資格のない臨時職員に対する研修のあり方についてたゞされました。理事者からは、保育の中心は、正職員が行うが、臨時職員でも有資格者であれば保育業務を行って...

委員からは、武生中央公園野球場の機能移転についてたゞされました。理事者からは、この野球場については、機能廃止ではない。機能移転先である丹南総合公園の中に、本球場に加え、野球場として利用できるバックネットを備えた多目的グラウンドがあることから、より使い勝手のよい施設への機能整備拡充が図られていることを関係団体に再度説明していきたいとの答弁がなされました。

また、策定を予定している武生中央公園再整備基本計画に関して、委員からは、実際に利用する子育て世代などの市民の直接の声を反映するもののようにしたいとの要望もなされた。また、丹南総合公園(バックネットを備えた多目的グラウンド)の要望もなされた。

委員からは、斎場の指定管理者の指定について、来年度からの指定管理候補者は、選考審査の評価項目中、「公の施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しており、または確保できる見込みがあること。」との項目が応募三者の中で一番低い得点となっており、実績も無い。果たしてこのような候補者に、安全な管理運営ができるのかとたゞされました。

理事者からは、応募者については、項目別に見た場合、得点の高い項目と低い項目があるが、各項目の合計点が一番高い業者が候補者に選定されている。また、斎場での火葬経験者は既に確保できており、他自治体の斎場での業務研修にも参加していると聞いている。今回、議会です承りただければ、速やかに新旧の事業者と市を含めた三者で協議を行い、研修等を重ね、円滑に業務が移行できるように指導していくとの答弁がなされました。

委員からは、斎場の指定管理者の指定について、来年度からの指定管理候補者は、選考審査の評価項目中、「公の施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しており、または確保できる見込みがあること。」との項目が応募三者の中で一番低い得点となっており、実績も無い。果たしてこのような候補者に、安全な管理運営ができるのかとたゞされました。

- 委員長 三田村輝士
副委員長 吉田慶一
委員 安立里美
委員 川崎俊之
委員 題佛臣一
委員 小形善信
委員 前田修治

議会だより編集委員会



26年4月から指定管理者が新たな業者になる越前市斎場

委員からは、斎場の指定管理者の指定について、来年度からの指定管理候補者は、選考審査の評価項目中、「公の施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しており、または確保できる見込みがあること。」との項目が応募三者の中で一番低い得点となっており、実績も無い。果たしてこのような候補者に、安全な管理運営ができるのかとたゞされました。

委員からは、斎場の指定管理者の指定について、来年度からの指定管理候補者は、選考審査の評価項目中、「公の施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しており、または確保できる見込みがあること。」との項目が応募三者の中で一番低い得点となっており、実績も無い。果たしてこのような候補者に、安全な管理運営ができるのかとたゞされました。

